

シーネットグループ事業のエコシステム

2021年12月28日

C.Net

物流×ITで社会を明るくする

シーネットグループの成り立ち

グループ概要

シーネットグループ株式会社 (CNG)
※ホールディング会社

- 株式会社シーネット (CNT)
- 株式会社シーネットコネクタサービス (CCS)
- 株式会社シーネットIoTソリューションズ (CIS)
- 越庫(上海)信息科技有限公司 (CNC)
- C_NET (Thailand) Co., Ltd. (CNTH)
- 株式会社ベイキューブシー (BCC)

- ・CNTは創業30年を迎え、WMSクラウド事業を展開して20年が経ち、業界日本No.1に成長した基盤ビジネスです。
- ・CCSは音声認識技術を応用した「倉庫内作業の音声ピッキングシステム」の販売推進のためCNTから分離独立して事業を始めました。最近では画像関連のビジネスも開始しました。
- ・CISはCCSから独立し、IoT技術(Sigfox)を応用した「物流カゴ車の管理システム」、「倉庫内協働型ロボット」の販売代理やその運用システムを販売するビジネスを立ち上げました。未来の倉庫作業の省力化、効率化を目指した企業です。
- ・CNC/CNTHは中国、タイに展開する日系企業のWMSをサポートする会社です。CNTが開発・運用しているシステム(WMS)を海外展開しています。
- ・BCCは30年の歴史を持ち、常駐型と受託型の2軸のシステム開発により多業種にわたる優良企業のIT戦略をサポートしている技術者集団です。グループの一員になってからはまだ日が浅いですが、グループ内エコシステムの推進のためには不可欠な企業です。特にグループ内事業の中核をなすWMS(ci.Himalayas)のカスタマイズビジネスにおいて、その能力が如何なく発揮されています。

CNGはこのような企業を傘下に収め、各社を統括し効率的な運営を目指すホールディング会社です。

事業領域と経営理念

Cのつく企業(CNT、CCS、CIS、CNC、CNTH)は、その事業領域を【倉庫内サービスをIT技術でDXすること】と定義しています。倉庫内サービスの主領域はWMS(倉庫管理システム)であり、流通および食品流通分野においてTOPシェアを獲得しています。

またこの基本理念と実績が『Cの企業の競争優位』を築き上げています。

それゆえ、グループ全体の理念は『物流×ITで社会を明るくする』で統一しているのです。

BCCはその各種システム開発において、グループ各社への技術者常駐により理念をサポートしています。

ロジスティクスは基本的に3つの構成要素に分解されます。

- ・倉庫管理
- ・国内配送管理
- ・海外輸配送管理

倉庫管理(WMS)はそのサプライチェーンの重要なエレメントです。

- ・CNTは1993年に米国型WMSの販売を開始、現在日本市場におけるクラウド型倉庫管理システムのパッケージ出荷金額シェアで10年連続No1を獲得しています。

* WMSは管理対象とする在庫品目と倉庫の形態によってその種類が異なります。

通販向け(B to C)／流通型(B to B)／通過型(TC型)／保管型／冷蔵倉庫／プロセス型等

* WMS(ci.Himalayas)は多少カスタマイズが必要になりますが、各業務に対して汎用的に設計されています。つまりCNTはパッケージ・ベンダーです。

- ・CCSは2007年から流通型倉庫での店舗別仕分け作業等の労働集約型作業に有効な、米国発の音声認識技術を応用した作業支援システムを販売開始しました。

2015年からは画像関連としてインターネットカメラによる倉庫内作業監視サービスを開始しました。

- ・CISはIoT技術と作業員支援用AMRロボットの代理店として、倉庫作業支援サービスを展開しています。
- ・BCCは過去蓄積してきたBAのノウハウをWMSと連携させることで、相乗効果を得る事が可能です。

人財資産

技術系

- ・現場の物流知識が豊富で優秀な技術者が多数在籍しており、日々現場の業務改善の知見を共有しています。
- ・専任の運用サポートスタッフが 24 時間 365 日保守対応しているため、迅速な問い合わせ対応や緊急対応で安心・安全な運用を担保しています。
- ・物流以外にも様々な業界での導入・稼働を経験したプログラマーが多数在籍しています。
- ・最先端のテクノロジーを現場業務に応用した新しいソリューションを常に提案し続けています。
- ・継続的に開発環境の改善や進化、人財の教育・育成に積極的に取り組み、無駄のない体制を追求することで開発効率や品質を向上させ続けています。

営業系

- ・要件定義からシステムの立ち上げまで、現場の知識と経験豊富な担当者がシステムを最高効率で運用するための現実的な仕組み作りを提案できます。
- ・様々なソリューションを組み合わせ、より効果的な課題解決につなげる 幅広い引き出しを持っています。

事務・企画・広報

- ・常にグループ全体を見据えたバックオフィスでのサポートを行える人財を擁しています。

特化型ソリューション資産

- ・倉庫管理システム
- ・物流向け AI-OCR サービス
- ・WMS 連携ビジネスアナリティクスサービス
- ・音声システム
- ・カメラソリューション
- ・認証システム
- ・物流用業務機器
- ・その他お客様のニーズに応じた機能付加、カスタマイズ→各種ソリューションの提供を通じ物流現場の経営課題の 解決支援を行っています。

顧客資産

物流は各産業界に横断的に関連する重要な機能です。

製造業・流通業・アパレル・食品・物流会社(3PL)・通販・自動車・建築関係・金融業等々商品を扱う会社には在庫管理が必要となり、規模が大きくなると倉庫管理システムが必要になります。

規模的には流通金額が 10 億円以下の小規模倉庫、数十億円から 100 億円程の中規模倉庫、100 億円以上の大規模倉庫等に分類できます。ci.Himalayas は中規模から大規模の顧客層に多く採用されています。

特に食品・流通(コンビニ)・外食・食品卸等に強く、それ以外の産業にも広がっています。

小規模倉庫やアパレル倉庫は他社が先行しており、当グループは積極的に展開していません。また大手企業及び大手通販企業は物流マテハン企業等が競争する領域になっています。

エコシステム

シーネットグループは、複数の事業会社を単に束ねただけのホールディング企業とは異なり、同一理念のもと各社の人財資産・ソリューション資産・顧客資産をホールディング会社がダイナミックに管理し、グループとして最大限のパフォーマンスが発揮できる体制を目指しています。この生態系全体を【エコシステム】と呼びます。【エコシステム】の特徴には以下のようなものがあります。

- ・ CNG をコアとした各社に在籍するサポート要員・開発要員・管理・営業企画等の**人財資産**
- ・ IT 技術を中心とした様々な**特化型ソリューション資産**
- ・ 中規模から大規模に跨り、食品・流通・外食・食品卸・3PL 企業における多くの**顧客資産**

【エコシステム】の生態系内部で、3つの資産をシェアしていくことが他社との『競争優位』を高めています。そのために各社間での尊重と資産のシェアが重要となります。

グループ全体の理念を『物流×IT で社会を明るくする』で統一し、【エコシステム】を強力にドライブしています。

中期目標

事業内容や売上の中期目標を策定しています。このためにはグループ各社が共通の理念、ビジョン、使命を共有していくこと、そして過去の分析を基に5年後、10年後のあるべき姿を描き、全員参加で戦略を作る必要があります。次世代の経営者にも事業領域を外さず、目標に向けて邁進することを希望します。

以上

